

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年7月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年7月11日～7月31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 124社
- 回収率 62.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の7月の状況を見ると業況DIは、前月より3.3ポイント悪化の▲16.3となった。

2017年9月以来22ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲15.4、当月に比べ0.9ポイントの改善が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2019年8月～ 10月
業況	▲25.9	▲21.6	▲18.9	▲13.0	▲16.3	▲16.0	▲20.0
売上	▲27.9	▲17.1	▲6.1	▲10.4	▲11.4	▲8.0	▲8.8
採算	▲26.0	▲24.3	▲15.5	▲13.1	▲15.5	▲16.0	▲16.0
仕入単価	▲41.4	▲43.2	▲47.4	▲40.9	▲44.7	▲41.6	▲36.8
販売単価	-	-	6.0	16.5	1.6	5.6	7.2
従業員	29.8	33.3	35.4	33.0	39.1	37.6	40.8
資金繰り	▲8.7	▲7.2	▲9.5	▲4.3	▲8.1	▲6.4	▲8.1

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2019年8月～ 10月
建設	▲40.7	▲18.5	▲17.8	▲11.1	▲13.8	▲3.5	▲7.2
製造	▲32.0	▲24.2	▲25.8	▲10.0	▲9.4	▲19.3	▲19.3
卸売	▲15.0	▲22.8	▲8.7	0.0	▲15.4	▲16.7	▲20.8
小売	▲13.3	▲26.6	▲20.0	▲31.3	▲25.0	▲22.2	▲27.8
サービス	▲17.6	▲16.6	▲21.1	▲20.0	▲25.0	▲20.8	▲29.2

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・相応の発注量はあるものの、技術者不足、下請企業確保難から対応が難しくなっている。(総合工事) ・日本は国を筆頭に働き方改革やキャッシュレス対応など変化を急ぎすぎている。それを実践することによって過重労働が発生する。もう少しゆっくり歩んでほしい。(設備その他) ・技術職員の採用・育成。会社全体の生産性改善（設備その他）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革で年3回の全社一斉休業の有休消化の実施。人員不足が見込まれる中、パートの配置計画を見直さなければならず、中小を苦しめる。(食料品) ・好天による原料作物の安定収入。小売部門の客数増加。(食料品) ・人手不足ではないが、営業力強化で人員増員の募集をしているが問い合わせ等が一切なく、職種的に人気がないのでしょうか。(印刷・出版) ・仕入材料本体の単価は不変だが、札幌から旭川までの追加運賃が上昇している。(金属窯業他)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・製紙メーカーの抄造機のトラブル等で昨年10月から販売商品が不足の為、年内の売上に影響する。(紙製品) ・依然として人手不足が解消しておらず営業活動において見直しが必要である。(機械鋼材) ・人手不足、働き方改革の影響。(繊維)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・月に入りサマーセールがスタート。来店客が増加することなくOFF率30%(プロパー仕入のため仕入原価を割れず)を実施。お客様の購買意欲を高めることができずセール期間の買上げ単価が下がり全体の売上が厳しい。(衣服見回品) ・人手が不足している中、働き方改革に対応するため、労働時間の圧縮や有給休暇取得を確実に実行する勤務シフトのやり繰りに苦労している。昨年より販売単価は下落しているが、好天に恵まれ来店客数は増加し、売上は微増している(その他) ・設備投資による需要の拡大。(食料品)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足は大きな問題。仕事量は増加し続けているが、運転手、作業員不足で困っている。全道的にも同様の状況。(理美容・クリーニング) ・昨年の震災以来、インバウンドの単価ダウンが見受けられる。今シーズンに入っても震災の影響で単価に響いている。(ホテル・旅館) ・4月より完全週休二日制を導入したが、現場作業の日程調整及び人員配置等に頭を悩ませている。特に冬場は雪の影響もあり、ますます調整が難しくなる。(その他) ・売上はほぼ横ばいの状況で、納入単価が上がってきている。なかなか利益にならない。(飲食) ・いい人材がいない、育たない。(整備業) ・夏のボーナス支給については減もしくは支給しない。(運送)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI3.6 ポイント改善、採算 DI13.8 ポイント改善、仕入単価 DI1.9 ポイント悪化、販売単価 DI7.1 ポイント改善、資金 DI3.6 ポイント改善、従業員 DI1.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 10.3 ポイント改善となった。業種別では、建築業横ばい、総合工事 14 ポイント、設備・その他 10 ポイント改善となった。下請不足、下請施工単価の上昇、資材価格の高騰が見込まれるとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI3.4 ポイント悪化、採算 DI7.0 ポイント悪化、仕入単価 DI4.7 ポイント改善、販売単価 DI0.4 ポイント改善、資金 DI6.4 ポイント悪化、従業員 DI2.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 9.9 ポイント悪化となった。業種別では、食料品、印刷・出版、家具・木材横ばい、金属窯業他 27 ポイント悪化となった。8～9 月と 10 月で激変する可能性がある。消費税増税で大幅に悪化しないよう仕入価格に注意を払いたいとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI8.6 ポイント悪化、採算 DI3.5 ポイント改善、仕入単価 DI17.0 ポイント改善、販売単価 DI4.2 ポイント改善、資金 DI0.9 ポイント悪化、従業員 DI9.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 1.3 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 13 ポイント、その他 13 ポイント改善、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 50 ポイント悪化となった。依然として人手不足が解消されておらず営業活動において見直しが必要との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI15.9 ポイント改善、採算 DI9.1 ポイント悪化、仕入単価 DI10.3 ポイント悪化、販売単価 DI20.2 ポイント改善、資金 DI1.4 ポイント改善、従業員 DI6.9 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 2.8 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 20 ポイント悪化、衣料品横ばい。その他 5 ポイント、自動車 17 ポイント改善となった。増税前の駆け込み需要が増えているが、人手不足・在庫切れなどの影響がでてきているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI20.9 ポイント改善、採算 DI5.0 ポイント悪化、仕入単価 DI 横ばい、販売単価 DI7.5 ポイント悪化、資金 DI16.6 ポイント改善、従業員 DI0.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.2 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、ホテル・旅館 17 ポイント、整備業 27 ポイント悪化、その他、運送横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、飲食 25 ポイント改善となった。観光客が増加し、売上も増加しているが天候の影響で野菜の価格上昇が心配との声も寄せられている。</p>